

第 3 号

1983. HOYU

# 朋友



I科10期生 森下すみ江

佼成看護専門学校同窓会

# 同窓生近況報告

## 近々、なつかしの古巣へ

I科3期生

依田典子

(旧 牧瀬)



九年前、なつかしのわが母校、佼成高等看護学院を卒業後、佼成病院内科病棟に三年半勤務し、結婚移転のため退職しました。その後、昭和五十四年四月に、長女を出産し、夫の転勤のため大阪へ移転しました。昭



I科8期生

渡辺美佐江

### 道

和五十五年二月から大阪高槻市にある北摂総合病院へ再就職し、その間昭和五十七年五月に二女を出産し、二児の母親となりました。大阪には三年半いましたが、今年の四月に東京へもどり、現在、近くの南台診療所に勤務しています。近々、佼成病院へもどることになり、意欲满满といったところです。子供は公立の保育所へあずけておりますが育児に家事に仕事にと毎日毎日を、忙しさに明け暮れている次第です。これからも大阪での経験を生かし、さらによりよい看護をしていくよう努力するつもりであります。

同窓会雑誌に詩でもと言われ、学生時代に書いた詩の中から一つ

これから先、進む道はそれぞれでも

ともに歩んだ、わずかばかりの日々

永遠に消えることなく

ふりかえれば、そこに思いほのこり

ふく風は肌につめたいけれど

さあ、歩んでゆこうマイロード



# かわいい園児達と共に

II科五期生  
川澄 弘子



保育園には全く縁のなかつた私が今年の四月より知人の紹介で働くようになりました。職員20名、在園児59名の中で保母達に交り、0才児を担当しております。

朝、乳幼児を預りオムツ交換、哺乳離乳食の世話や月齢の高い子供達との園庭遊びなど一日がめまぐるしく過ぎていきます。その流れの中で時々、子供達の発熱、すり傷、腹痛などさまざまな症状の連絡をうけ、その処置にあたります。

保育園における看護婦の役割もまだ把握できないまま今日に至りましたが、毎日毎日が勉強の積み重ねと思ひ可愛い園児達の役に立つ事ができますよう頑張っていきたいと思っておりますので、いろんな事をアドバイスし

ていただければと思ひ、つたない文章を書く事にいたしました。

同封しました写真は、六ヶ月になる司君にミルクをあげている所です。皆様からのアドバイスを心待ちにしておりますのでよろしくお願いいたします。

## 日本海・中部地震の渦中で

I科4期生  
虻川恵利子



去る五月二十六日午後零時過ぎごろ、秋田沖で震度五の地震が発生し、八十人余の犠牲者を出す大惨事がありました。

私はその時、病院の人工透析室におりましたが、患者さんはもちろん私達看護婦スタッフも、これまでにないあまりの大きなゆれに、ただオロオロするばかりでした。私が勤務し

ております人工透析室は建物が老朽化し、壁が剝がれ落ちただけの被害でしたが、後で考えますと透析の最中でしたので身の凍る思いがしました。

「患者中心の看護」が叫ばれて久しい昨今、あの時の患者さんの不安げな顔を思い出す度私達、看護の手を離れた魔の手にもう少し冷静に対処しなければと反省しております。

私も二児の母で、三十代の入口にさしかかっております。校成看護専門学校で培われた精神を基に、これまでの八年間の臨床の場での体験を生かしてもっとと努力しなければと発憤している今日この頃です。そして最後に良き妻・良きナース・良き母となれるように頑張りたいと思ひます。



## 専業主婦の一日

II科5期生 江崎 美恵子  
(旧阿部)



仕事をやめて二年目。今や一主婦として頑張っている。天気がよければ朝五時頃から洗濯機を回しペランダは洗濯物でいっぱい。

でもその洗濯物も風にゆられて踊っている様にみえるのも一つの楽しみ。子供が保育園にいく前まで掃除、洗濯をすませ十時には下の子とおやつの時間に便乗する。そして買物にいったり公園で遊ばせたり散歩や、家の中で自由書きやテレビをみたりで一日が終りになると親の私の方が先にねむったりする。仕事につくようになったらどうなることや。又、オバン臭くなつて、気ばかり若くても時代錯誤を感じる様になってがっかりすることが多分にある。

そんな中で自分の時間は子供が午睡して

る時、習字や粘土細工、鎌倉彫と下手ではあるが趣味として造る楽しみを味わっている。でも早く看護職につくことが夢です。そんな私の主婦の生活です。

## 新米ママの心境

I科9期生 北野 涼子  
(旧小川)



こんにちは、皆様お元気ですか。私は相変わらず明るく、忙しい日々を送っています。

というのは昨年結婚して、二月女の子が誕生しました。今では、独身生活とはずいぶん変つて、家庭中心、子供中心の昨今です。仕事を離れて一年足らずなのに、なんとなく友達や先輩後輩の現在の生活に好奇心をおぼえますが、まだまだ先のことのようにです。

これから暑い季節になります、皆様お身体

に気をつけてがんばって下さい、私もがんばります。

## もうすぐ母に

I科5期生 宅井 りつ子  
(旧佐藤)



東京へ舞い戻り二度目の夏を迎えようとしています。現在専業主婦の毎日です。

当初は自由時間を持た嬉しきで一杯でしたが、このままでは籠の鳥ではと焦り、そして始めた趣味の一つに洋裁があります。不器用を絵に書いた様な私ですが、出来上った洋服に袖を通す時の気持は格別です。

現在、数枚目のマタニティドレスを手掛けています。そして9月末にはいよいよ私も母親になります……。

## ただいま育児戦争真最中

Ⅱ科3期生

高谷 早苗

(旧和田)



専業主婦六年目。幼稚園に通う長男と一才三ヶ月になる二男の子育てに、明け暮れております。

もっかの課題は「次男のオムツとり」です。と言ってものんびりムードで夕方の忙しい時分には後回しして夕食が出来上がる頃になってやつとみてやる。当然もうぐっしょり。長男の時には、なにはともあれ育児優先だった自分を思うと、随分手抜き育児をやっているなど可笑しくなります。

ゆっくり物を考えたり、一つの事だけに夢中になれた学生時代を今は懐かしく思い出します。

## 今、保健婦として

Ⅱ科7期生

佐藤 成子



看護学校卒業後、故郷の新潟に帰り六年目を迎えました。

最初、重症心身障害児病棟に二年程務めました。今は保健婦として三条市役所で働いています。保健婦は全部で十一名。新卒者から退職を目前にひかえた人までバラエティーに富んだメンバーです。そして毎日、笑いながら、あるいは意見を戦わせながら、それぞれの個性を發揮して頑張っています。

人と接することの多い仕事だけに、悩みはたえませんが、人間関係を大切にしつつ、ケースとともに考えられる看護者になれるよう今後とも努力したいと思っています。

## 小さな生命の看護

I科11期生

宮澤 和子



渋谷は日赤幹部病院のかねてからの希望だった新生児・未熟児科、未熟児センターに勤務して早二年目を迎えています。

とにかく大きな病院だけに新生児・未熟児科の看護スタッフだけでも約六〇名というスケールの大きさ、そこに求められるより専門的な知識・技術・業務内容の複雑さハイレベルさには想像以上のものがあり、最初はどうすることも数多くありましたが、なんとか一年が過ぎBabyを観察する眼にも少しずつ余裕がでてきた今日この頃です。

正常新生児を扱う（もちろん新生児病児も数多くいますが）新生児室とは違い、東京中のハイリスク児が集結していると言っても過言ではない我未熟児室では、*High Risk*

Factorを有する重症児がほとんどです。NICU（新生児集中強化治療室）を始めとして、刻々と変化するBabyを見守るスタッフにはレスピレーターとモニターの音を耳に一秒たりとも気持ちの油断は許されません。

二年目とはいえまだまだこれから勉強していかなければならない事、わからない事が沢山あります。まだ私は山頂への一步を踏み出したばかりです。

病棟では今、先輩スタッフが相次いで退職され、二年目の私達がほとんど指導的立場に立たねばならない状況の中にあります。一年目以上にいろいろ大変なことで自分自分の未熟さをいやという程思い知らされる毎日ですがさまざまな疾患と戦いながらも小さな生命で一生懸命頑張っているBaby達に負けない様に私も頑張らなくてはと思っています。

努力のいかにもなく未熟児室で短かい一生を終えるBabyもけっして少なくありません。でもたとえ数日間の短い生命であっても、重い疾患をかかえたどんなに小さな生命であってもこの世に受けた一個の生命の尊さにはなんの変わりはないと思います。

人間としての第一歩であるこの新しい小さな生命をこれからも心から尊いと感じて看護できる自分でありたいと思っています。

## 頑張れ!!後輩達

I科10期生

望月 葉子



皆さんお元気ですか？私は今榊原記念病院のICUで働いています。救急部門での仕事は、緊張の連続で身も心も痩せ細ってくるかと思つたのですが、身体をこわしてはならじと、充実した食生活のお陰で、ウエストの後片もなくなっている今日此頃です。

ああ、学生時代が懐しい。給料をもらわずして、清拭、Bedメイクにあけくれた日々、あれが基本だったのだとつくづく思うのです。我後輩たち頑張るのだから、私も頑張ります。



## なつかしい学生時代

II科2期生 矢部美智子



学院を卒業して、十年が経ちました。働きながらの三年間の勉強は、苦しかっただけに、私にとって貴重な人生体験でもあり、いつまでも忘れることが出来ません。

授業では、看護学総論の時の樋口教務部長の看護教育に対する熱意が、私達をぐいぐいと引っばってくれ、看護に対する勇氣と希望を心の中に植え込んで下さったと思います。

今こうして過去をふり返った時、多くの先生方の教えを受け現在の自分があるのだとつくづく思い、これからは少しでも実習に来た学生が看護に対して私が抱いたような勇氣と希望を持って進めるよう、かかわっていきたいと思っております。

# 12期生の紹介

同窓会の先輩皆様方、初めまして、このたび同窓会の会員に仲間入りさせて頂きます。

私達十二期生は、入学当時より一風変わった学年と言われ、個性的な集団でしたが、遊ぶことが大好、チームワークは、ばっちり、勉強……という属に言う、根明人間ばかりで、とてもゆかいな仲間達です。担任の先生方も一、二年は、私達の大先輩である神田先生、



今西先生、三年では、山崎先生、今井先生と、四人の先生にお世話になり、学校行事や勉強など、皆さんで一致団結して頑張りました。

今年は、約1/2が佼成病院に入職し、他1/2が自分の志す病院又は進学しています。皆、佼成看護専門学校卒業生として、はりきって毎日を送っていると思います。

まだまだ駆け出しのひよ子ですが、各々の病院または病棟で先輩方から、よきアドバイスを頂き、精一杯頑張っています。

未熟者の私達ですが、どうぞよろしくお願ひ致します。

## 同窓会活動報告

同窓会活動もやっと軌道に乗り左記のような活動しております。

4月 14期生入学式

副会長祝詞、花束贈呈

同窓会の説明(Ⅰ-4塚田)

5月 定例役員会

9月 小野田先生へアルバム贈呈

水害見舞(会長・役員)

11月 戴帽式

副会長祝詞・花束贈呈

同窓会の説明

定例役員会

12月 朋友送付の作業

1月 朋友郵送

3月 12期生卒業式

副会長祝詞・花束贈呈

各クラス役員を中心に、連絡を密にとりたいたいと思いますので、皆様の御協力をよろしくお願ひ致します。

## 同窓会開催へのおさそい

第2回同窓会を開催致します。

久しぶりになつかしい友と語り合いませんか。皆様、お忙しいこととは存じますが、是非、万障お繰り合せの上、御出席下さるようお願い致します。日時、場所につきましては、現在交渉中ですが、10月か11月頃に開催の予定です。詳細は、追ってお知らせ致します。尚、遠方よりおいでの方には、宿泊施設として、団参会館をお願ひ致します。

# 同窓会会計報告

会費納入（郵便振替口座）も皆様の御協力のおかげをもちまして徐々に増え、同窓会の運営もだいぶ軌道に乗ってまいりました。

しかし残念なことに滞納されている方の数も少なくありません。左記の収入の部・同窓会費の項の内訳からも、おわかりになりますように新入会者からの納入は順調であります。OBからの納入分は、同窓生総数からしますと、わずかであります。どうか今後の本会の発展の為に御協力をお願い致します。つきましては今回も「払込通知票」を同封致しましたので、そこに書かれている金額をお近くの郵便局に御支払い下さる様、お願い致します。尚、前回までの滞納分は、今回の分に加算されておりまして御了承下さい。

また、住所変更、勤務変更、改姓等ございましたら通信欄に御記入下さるよう、重ねてお願い致します。

## 昭和57年度決算収支報告(S56.4~S57.3)

収入の部	支出の部	
前年度繰越金635,658	経費	488,593
同窓会費284,250	通信費	44,580
12期生 96,000	印刷代	149,600
14期生106,000	慶弔見舞金	200,000
O・B 82,250	雑費	25,363
預金利息 2,644	消耗品	6,560
	アルバム代	50,250
	委員会運営費	12,240
	次期繰越金	433,959
	現金	121,479
	銀行	260,680
	郵便局	51,800
合計 922,552	合計	922,552

# 役員名簿

会長（Ⅰ―Ⅰ） 浜田みどり  
副会長（Ⅱ―Ⅰ） 菱沼義恵  
書記（Ⅰ―Ⅰ） 今西潤子（Ⅰ―Ⅳ） 塚田陽子  
会計（Ⅰ―Ⅰ） 神田恵美子（Ⅰ―Ⅳ） 遠藤裕子

I 科	氏名(旧姓)
1期生	今西潤子(日浦)
2期生	篠原夏子(小沢)
3期生	鶴園真理子
4期生	遠藤裕子(荒野)
5期生	鳥光令子(荒川)
6期生	大倉千恵 山田郁代(松岡)
7期生	小島啓子 高倉三千子
8期生	齊藤悦子(小長谷)
9期生	西崎知世子(湯川)
10期生	阿部留美子 白石登美子
11期生	堀越佳子 石井真由美
12期生	小尾貴美子 池下靖子
II 科	氏名(旧姓)
1期生	小見道子(近藤)
2期生	矢部美智子 鈴木佳代子(久保)
3期生	香水好江 遠藤早智子
4期生	柳沼みち子 鈴木加代子(西川)
5期生	江崎美恵子(阿部)
6期生	長壁さみえ 稲垣由美子(鷲尾)
7期生	小曾根富美江(小宮)
8期生	朝妻晴美 山口悦子
9期生	井上幸江 大森ケイ子
10期生	相田千秋 新井里枝子

# 学校事務局より

証明書が必要なときは、証明書交付申請書（用紙は事務室に備付）を提出していただくことになっていますが、遠隔地からの申込みの場合は、返信用封筒に切手の貼付、住所、氏名、郵便番号を記入同封し、必要事項を手紙に書いてお申し込み

ください。なお成績証明書については、提出先へ直送することになっておりますので、返信用封筒には、提出先の所在地、名称などをお書き下さい。手数料はつぎの通りです。

卒業証明書 一通につき 二〇〇円  
成績証明書 一通につき 五〇〇円  
送り先〒166東京都杉並区和田一ノ三ノ十四

校成看護専門学校事務係

電話(03)三八四一六一

尚、住所変更、改姓された方は、必ず連絡下さい。郵便でも電話でも結構です。郵便物が時々届き、転送するの困っております。

## 編集後記

ニューフェースを迎えて三ヶ月が過ぎようとしている今日この頃、彼女達の顔にも緊張が少しほぐれ余裕がでてきた様である。そんな姿を見ながら自分にも遠い昔こんな時期があった、すべてが恐怖で毎日が緊張の連続であった、毎年四月になるとそんな遠い日の事を思い出しては、心あらたに看護をみつめ直してみる。やはりまだまだ到達しているとは思えないが自分なりに看護とは何かが少しずつつかめてきているようでもある。自分は看護職を選んで本当に良かったと思っている。看護をみつめる事は、人間としてどう生きるかという事でもあるような気がしています。これからも引き続き看護を見つめて歩いてゆきます。今回朋友第三号発行にあたり、同窓生の皆様の近況報告を編集しました。なつかしくお読みいただければ幸いです。（鈴木加）

〒166東京都杉並区和田一―三―十四

校成看護専門学校同窓会事務局